

## 2022年『資本論』深掘り講座（第1回）ニュース 12/4

本日よりスタートします。皆さんとともに、実りある学習を作っていきましょう。

### 【講師メッセージ】

『資本論』第3巻の課題は賃金・利潤・地代という収入諸現象の分配法則です。経済的富(+m)が誰の懐にどのように収まるかが明らかになり、資本主義の諸矛盾が総括されます。“利潤最優先のひずみ”などよく口の端にのぼります。しかし、マルクスの警告：「第3巻からは、剰余価値の法則を知れば利潤率は把握しやすいということがわかるであろう。逆の道をたどったのでは、“どちらも”把握されない。」(新版訳372/新書366/原230)。『利潤』を振りかざしているだけでは利潤も剰余価値も“どちらも”把握できない、と。全三巻眺望しながら本講座で骨太の連環を深掘りしてまいりましょう。

### 本日の学習

利潤論（1） 「剰余価値の利潤への転化」

### 【宮川彰著『第2・3巻を読む』下より】

具体的諸形態…生産当事者や一般消費者のわれわれの日常意識に身近に現れるもの。転化……………内面的な、本質的な関係から、社会の客観的な仕組みに基づいて、生産諸関係をたどりながら、一步一步表面によじ登っていく、外面に現れている現象形態に段々近づいていくプロセスのこと。

### 本日のスケジュール

12:55~13:00	挨拶 資料確認	15:20~16:20	講義 Ⅲ
13:00~14:00	講義 Ⅰ	16:20~16:30	休憩
14:00~14:10	休憩	この休憩中に質問・感想を出してください。	
14:10~15:10	講義 Ⅱ	16:30~16:55	Q&A
15:10~15:20	休憩	17:00	終了

**次回** 2023.1.9(月・祝)13:00~17:00 利潤論(2)「利潤の平均利潤への転化」

会場:ラパスホール(南大塚・東京労働会館7F) 別紙地図参照

ご案内 第1巻講座: 12/18(日) 13:00~17:00 エデュカス東京 5F

第4篇「第13章 機械と大工業」

『D・K』を読む会: 12/24(土)13:00~17:00東京八重洲クラブ(Zoom 講義も)

第1巻「第24章 いわゆる本源的蓄積」から